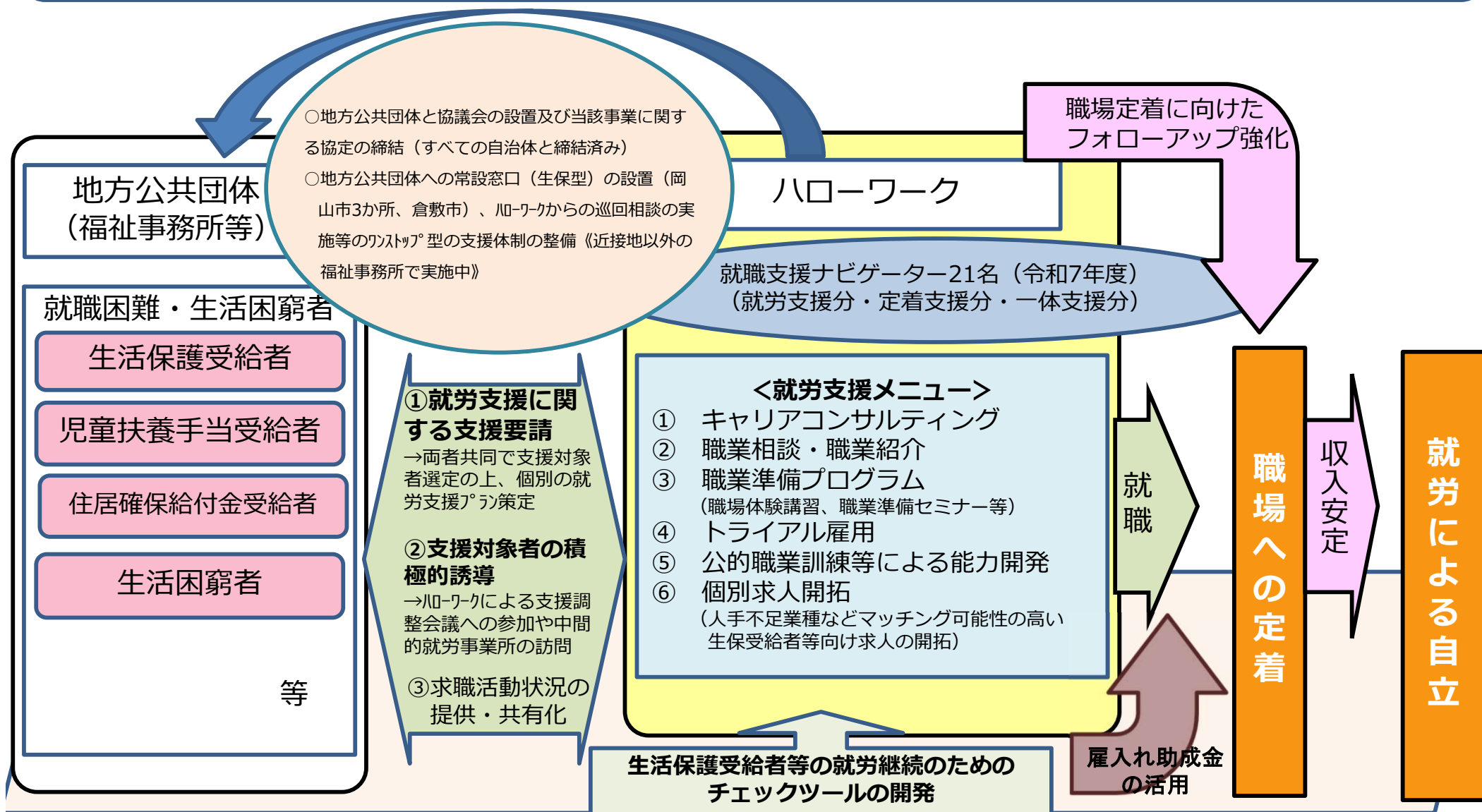


生活保護受給者等就労自立促進事業の推進

労働局・ハローワークと地方公共団体との協定等に基づく連携を基盤に、地方公共団体におけるワンストップ型の就労支援体制を全国的に整備し、生活保護受給者等の就労による自立促進事業を図る生活保護受給者等就労自立促進事業を実施してきたところです。

生活保護受給世帯数の高止まり、平成27年度に生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴う支援対象者の増等にも対応するため、地方公共団体にハローワークの常設窓口を増設する等、両機関が一体となった就労支援を更に推進することにより、支援対象者の就労による自立を促進します。



岡山市(岡山県)の一体的実施③

平成26年10月1日事業開始

中区福祉事務所施設内に「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山中」（愛称：ジョブ・サポ岡山中）を開設。生活保護受給者等に対する早期就職支援を岡山市とハローワークが一体的に実施。

市

福祉サービス、生活相談



国

職業相談、職業紹介

① 事業内容

- ・岡山市とハローワーク岡山の双方の担当で構成される「就労支援チーム」を設置し、綿密な支援が必要な支援対象者ごとに、支援プランを作成する。
- ・担当者制(マンツーマン)により、策定したプランの進捗管理を行い、個々に選定した支援メニュー(職業相談・紹介、カウンセリング、職業訓練メニューの提供・相談等)を実施する。

② 協定・事業計画

- ・岡山市長と岡山労働局長の間で協定(*)を締結。
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岡山市と岡山労働局の間で策定。

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

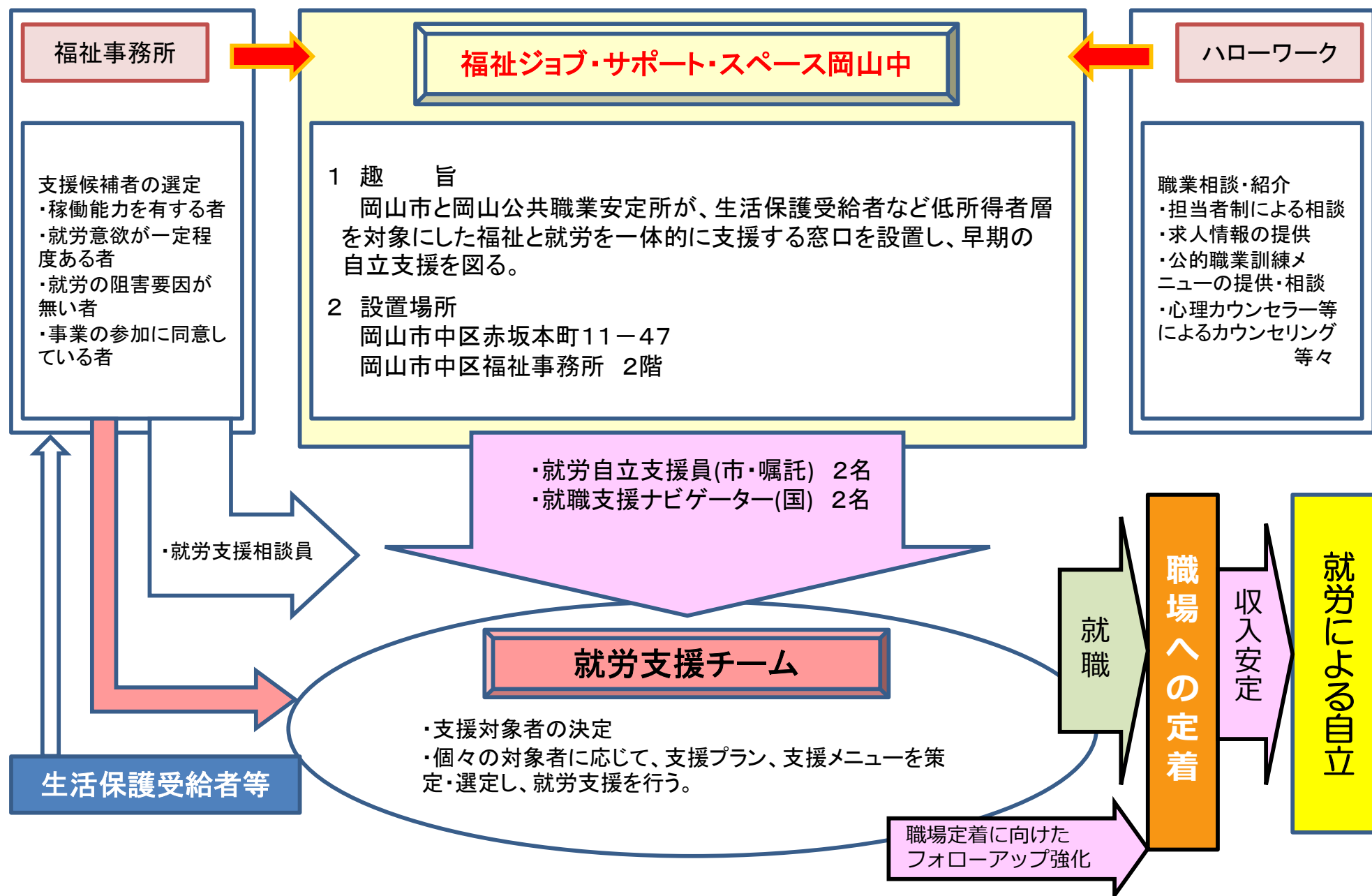
③ 実施協議会

- ・岡山市職員(福祉事務所所長を含む)、岡山労働局職員、ハローワーク岡山職員等をメンバーとする運営協議会を設置。



岡山市と国の緊密な相互連携と協働により、生活保護受給者等支援対象者の就職による早期自立の実現を図る。

福祉ジョブ・サポート・スペース岡山中イメージ図



(1) 実施体制 福祉ジョブ・サポート・スペース岡山中

岡山市 ・ 就労支援相談員(嘱託) 2名

国 ・ 就職支援ナビゲーター 2名
(ハローワーク) ・ 求人情報提供端末 3台、職業紹介端末 3台 配置

(2) 事業目標と取組状況

	7年度事業目標	取組状況(7年12月末時点)
生活保護受給者	○支援対象者数 117人 ○就職者数(率) 81(69.6%)	○支援対象者数 42人 ○就職者数(率) 14人(33.3%)
	(参考)6年度事業目標 ・支援対象者数 117人 ・就職者数(率) 80人(68.1%)	(参考)6年度取組状況 ・支援対象者数 83人 ・就職者数(率) 34人(41.0%)
児童扶養手当受給者	○支援対象者数 60人 ○就職者数(率) 43人(69.6%)	○支援対象者数 32人 ○就職者数(率) 24人(75.0%)
	(参考)6年度事業目標 ・支援対象者数 60人 ・就職者数(率) 41人(68.1%)	(参考)6年度取組状況 ・支援対象者数 60人 ・就職者数(率) 41人(68.3%)
住居確保給付金受給者	○支援対象者数 3人 ○就職者数(率) 2人(69.6%)	○支援対象者数 0人 ○就職者数(率) 1人(一%)
	(参考)6年度事業目標 ・支援対象者数 3人 ・就職者数(率) 2人(68.1%)	(参考)6年度取組状況 ・支援対象者数 3人 ・就職者数(率) 2人(66.7%)
生活困窮者 (住居確保除く)	○支援対象者数 20人 ○就職者数(率) 14人(69.6%)	○支援対象者数 20人 ○就職者数(率) 13人(65.0%)
	(参考)6年度事業目標 ・支援対象者数 20人 ・就職者数(率) 14人(68.1%)	(参考)6年度取組状況 ・支援対象者数 10人 ・就職者数(率) 9人(90.0%)
合 計	○支援対象者数 200人 ○就職者数(率) 140人(69.6%)	○支援対象者数 94人 ○就職者数(率) 52人(55.3%)
	(参考)6年度事業目標 ・支援対象者数 200人 ・就職者数(率) 136人(68.1%)	(参考)6年度取組状況 ・支援対象者数 156人 ・就職者数(率) 86人(55.1%)

一体的実施事業による就職成功例（ジョブ・サポ岡山中）

40歳代男性 生活困窮者 <<希望職種：配送・製造>>

①抱える課題

■7年前に前職を退職後無職となり、現在まで母親の年金を頼りに生活してきた。しかし、母親も高齢になり健康に不安を感じているため早期就業が必要となった。岡山市寄り添いサポートセンターも利用。

②支援内容・ポイント・経過

■就職活動は積極的に行っているが、職業理解が不足していると感じた。
■第二種電気工事士の資格が活かせる仕事を軸に応募し、また、並行して応募書類の書き方や面接練習を行った。

③結果

■支援期間約は約3か月、求人5件目で採用決定。【職種：組立配線】

④ハローワーク担当者の所感

■時間をかけ応募書類の書き方や面接練習を行ううちに些細なことでも質問できるようになり、問題点の共有が可能となった。

⑤本人のコメント

■就職活動がこれほど長引くと思っていませんでしたが、就職できありがとうございました。正社員としての勤務ですので、長期勤務できるよう頑張ります。